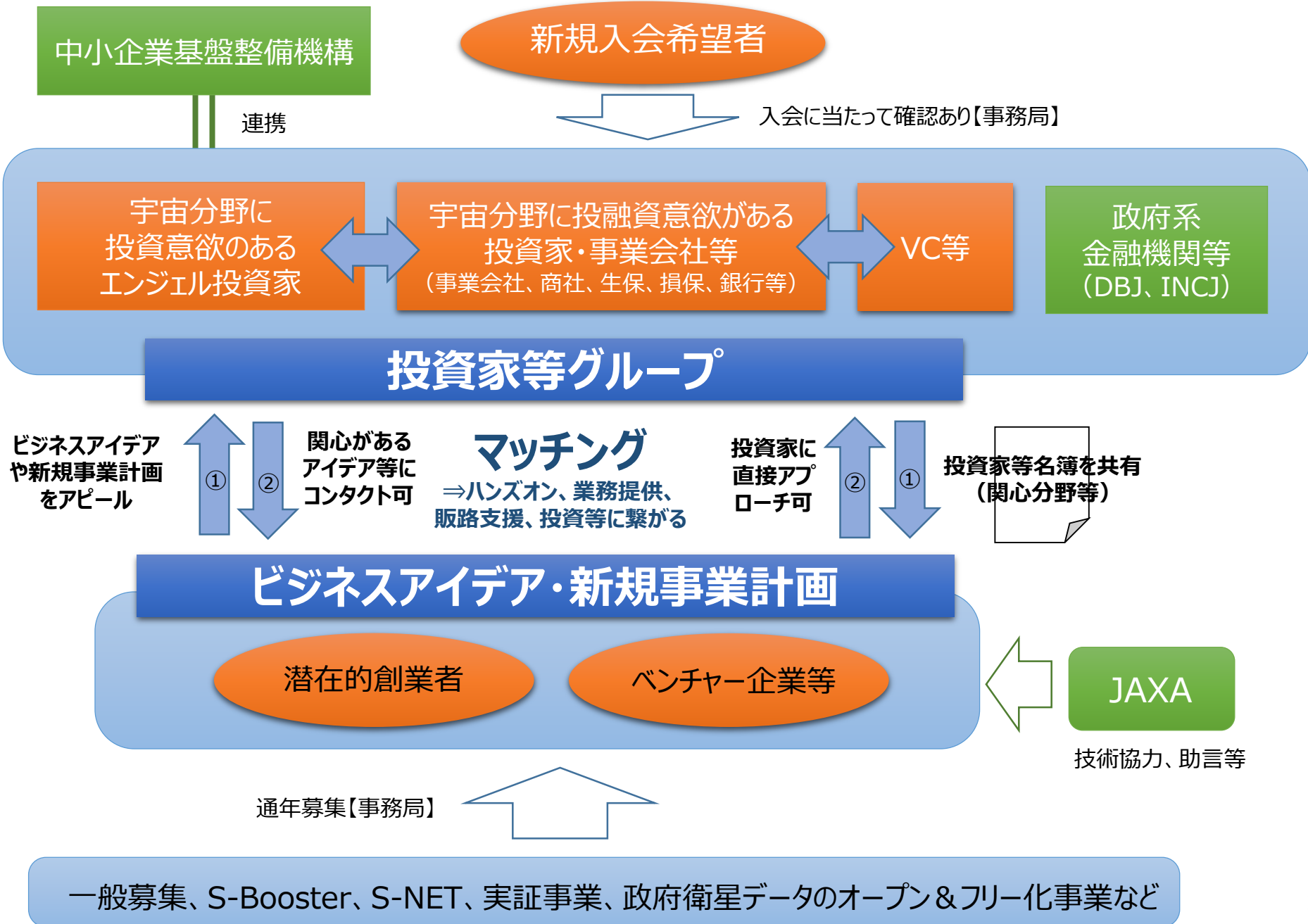


S-Matchingの概要

資料4-4



宇宙ビジネス投資マッチング・プラットフォーム（S-Matching） 投資家・事業会社の初期メンバーの発表

エス・マッティング

- 2月13日、内閣府・経済産業省は、新たなビジネス・アイデア等を有する個人・ベンチャー企業等と、投資家・事業会社とのマッチングを円滑化するための場として「S-Matching」を創設することを発表しました。
- 約1か月間、S-Matchingへのご入会を希望される投資家・事業会社を募集したところ、本日時点で、46社・個人のご入会を頂きました。
- 今後、5月頃に専用サイトが立ち上がり、実際のマッチングがスタートします。
なお、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）がS-Matchingの事務局を担います。

S-Matching発足メンバー（3月20日時点）

<投資家・事業会社>

- | | | |
|-----------------------------|------------------------|------------------------|
| ● 伊藤忠商事(株) | ● ANAホールディングス(株) | ● 三井住友海上キャピタル(株) |
| ● いわぎん事業創造キャピタル(株) | ● (株)ソニーコンピュータサイエンス研究所 | ● 三井物産(株) |
| ● インキュベイトファンド | ● ソフトバンク(株) | ● 三菱UFJキャピタル(株) |
| ● (株)エースタート | ● 第一生命保険(株) | ● モバイル・インターネットキャピタル(株) |
| ● (株)NTTデータ | ● 田島修一氏 | ● リアルテックファンド |
| ● (株)大林組 | ● (社)TXアントレプレナーパートナーズ | ● DBJキャピタル(株) |
| ● 小笠原治氏 | ● (合)テックアクセルベンチャーズ | |
| ● (株)オスカープロモーション | ● (株)電通 | ● (株)産業革新機構 |
| ● 兼松(株) | ● 東京大学協創プラットフォーム開発(株) | ● 東京中小企業投資育成(株) |
| ● (株)環境エネルギー投資 | ● (株)ニコン | ● (株)日本政策投資銀行 |
| ● QBキャピタル(合) | ● 日本航空(株) | |
| ● グローバル・ブレイン(株) | ● 野村證券(株) | |
| ● (株)グロービス・キャピタル・パートナーズ | ● 野村ホールディングス(株) | |
| ● KLab Venture Partners(株) | ● B Dash Ventures(株) | |
| ● 国土晋吾氏 | ● (株)ポーラ・オルビスホールディングス | |
| ● 清水建設(株) | ● 丸紅(株) | |
| ● (株)ジャフコ | ● みずほキャピタル(株) | |
| ● スカパーJSAT(株) | ● (株)みずほ銀行 | |
| ● Spiral Ventures Japan LLP | | |

<協力>

- 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

<事務局>

- 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

本件問い合わせ先

- 内閣府 宇宙開発戦略推進事務局 長宗、長島（03-6205-7069）
- 経済産業省 製造産業局 宇宙産業室 國澤、中西（03-3501-0973）

宇宙ベンチャー育成のための新たな支援パッケージ

平成 30 年 3 月 20 日

内閣府、総務省、外務省、文部科学省、経済産業省

- 宇宙ベンチャー育成のため、政府・関係機関が一丸となって、パッケージで支援。
- 日本政策投資銀行（DBJ）、産業革新機構（INCJ）をはじめとし、官民合わせて、宇宙ビジネス向けに、今後5年間に約 1,000 億円のリスクマネー供給を可能とする。
- JAXA・民間企業の専門人材を集約したプラットフォームを創設し、宇宙ベンチャーと JAXA・民間企業との人材の流動性を高めることなどを通じて、人材・技術面からも支援。

1. 政府関係機関による宇宙ビジネス向けのリスクマネー供給拡大

日本政策投資銀行（DBJ）、産業革新機構（INCJ）をはじめ、官民一体となって、宇宙ビジネス向けにリスクマネー供給を拡大。

2. スタートアップ段階に対する民間資金供給の円滑化

宇宙ビジネスのスタートアップ段階に関心のある投資家等（エンジェル投資家、ベンチャー・キャピタル等）を組織化し、アイデアを持った個人・ベンチャー企業とのマッチングを円滑化するための、新たなプラットフォーム（「S-Matching」）を発足。

3. 宇宙ベンチャーの人材確保支援

宇宙ベンチャーでの勤務等を希望する、JAXA・民間企業の現役・OB 研究者等の専門人材を集約したプラットフォームを創設し、宇宙ベンチャー企業との人材マッチングを支援。

4. 宇宙ベンチャーと JAXA 等との人材交流を含めた技術協力

宇宙ベンチャー企業と JAXA 等との出向等による人材交流を促進するとともに、事業化までをスコープとした JAXA と民間企業とのパートナーシップ型の技術開発・実証を行う。

5. 国研技術と民間ビジネスの橋渡し支援

国立研究開発法人（JAXA、NICT、産総研等）が有する尖った宇宙関連の技術と民間ビジネスのマッチングを支援。

6. 衛星データのオープン＆フリー化の推進と利用拡大のための実証拡充

政府衛星データのオープン＆フリー化のためのプラットフォーム構築と、準天頂衛星の測位信号を含めた衛星データの利用拡大のための実証事業を本格的拡充。

7. 宇宙ビジネス・アイデアの事業化に向けた初期支援

宇宙ビジネス・アイデア・コンテスト「S-Booster」の実施を通じ、受賞したビジネス・アイデアについて、受賞後の事業実施可能性調査（F/S）の実施や特許等出願料など、事業化に必要な経費を支援。

8. 革新的ビジネスを行うベンチャー企業のためのビジネス環境整備

軌道上で新たなサービス提供（デブリ除去、燃料補給、衛星修理等）を企図するベンチャー企業や、宇宙資源開発を計画するベンチャー企業等のためのビジネス環境整備を進める。

9. 宇宙ベンチャー等の海外展開支援

海外展開タスクフォースを通じた、新興国等への官民合同ミッション派遣による海外展開支援の強化。これにより、国連持続可能な開発目標（SDGs）実施にも貢献。（インドネシア、タイ、フィリピン、ルワンダ等）

10. 関係省庁・機関による総合的な情報提供強化

政府の支援策や成功事例を一体的に提供するための総合サイトの創設。

NEDO Pitch

第23回 “宇宙特集”

主催：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

共催：オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会

運営支援：有限責任監査法人トーマツ

開催日：2018年1月30日（火）

開催場所：NEDO Incubation Center (NIC)

ミューザ川崎 5F (NEDO 川崎本部)

プログラム：

18:00~18:15 開会、政策動向、テーマ概観等

18:18~19:30 NEDO ピッチ5件

ピッチご登壇者概要	
株式会社ワースペース	株式会社ワースペースは、小型衛星の開発と運用実績を有する筑波大発ベンチャー企業。人工衛星の設計開発、宇宙環境試験、人工衛星の打上げに伴う各種業務、打上げ後の運用やデータ活用まで含めた一気通貫の宇宙開発プラットフォームを提供。 自社技術により低価格化を図り、様々な領域の企業・組織と協業し、人工衛星を用いた新規分野での宇宙利用を実現する。シード VC からの資金調達実施、経産省の補助金採択実績あり。
インターステラテクノロジズ株式会社	インターステラテクノロジズ株式会社は北海道大樹町に本社工場を構え、低コストのロケット打上げサービスを提供。開発対象のロケットは、高度 100km 以上の宇宙空間に到達する観測ロケット、超小型衛星（100kg 以下）を高度 500 - 700km の地球低軌道へ運搬する軌道投入ロケットであり、これまでも実証を行っている。本年、観測ロケット 2 号機打上げを機に本格的な商用化を図る。 近年では総合商社・丸紅との業務提携や銀行等からの資金調達の実績がある。
PD エアロスペース株式会社	PD エアロスペース株式会社は、来るべき大量宇宙輸送時代に向けて、低コストで利便性の高い宇宙輸送インフラの構築を目指している。 開発中の機体：宇宙飛行機／スペースプレーンは、有翼の航空機スタイルで、既存空港から離発着する。最大の特徴は、ジェットエンジンとロケットエンジンの機能を併せ持つ「燃焼モード切替エンジン」。(世界初) これにより、離陸から宇宙空間での飛行、着陸まで、単一のシステムで、かつ繰り返し使用することが可能となる。(完全再使用型) 同社は、2016 年 10 月、宇宙旅行・宇宙輸送実現にむけて(株)エイチ・アイ・エス、ANA ホールディングス(株)と資本提携を行った。

スペースリンク株式会社	スペースリンク株式会社は、宇宙向け技術開発で培った先端技術をベースに、現在は地上向けアプリケーションに注力。主な事業は、カーボンナノチューブを活用した次世代蓄電デバイス、測位を安定的に低コストで行うことが可能なマルチ GNSS 受信機を活用した高精度測位システムの 2 つ。これまで何度も、JAXA や NEDO の公的資金獲得の実績があり、近年ではリアルテックファンドからの資金調達にも成功。
株式会社 QPS 研究所	株式会社 QPS 研究所は、「宇宙の可能性を広げ、人類の発展に貢献する」をミッションに掲げ、九州大学の名誉教授陣と若手技術者・実業家が幅広い経験と斬新なアイデアをもとに、世界トップレベルの衛星情報ビジネスを創造するベンチャー企業。世界初で開発した 24 時間、全天候型小型レーダー衛星を 36 機打ち上げることにより、世界中のほぼどこでも好きな場所を平均 10 分以内に撮影することのできる世界を構築し、更に定点観測で蓄積した画像データを分析することで地球規模で未来を予測し、社会の効率化に貢献することを目指す。2017 年 11 月に産業革新機構、未来創生ファンド等から 23.5 億円を調達。

19:30~20:00 写真撮影、ラウンドテーブル、名刺交換会
20:05 閉会